

(様式例2)

平成22年度 自己評価・学校関係者評価 報告書

岐阜県立大垣工業高等学校

学校番号 27

I 自己評価

1 学校教育目標	誠実にして心豊かな人間性と強くたくましい身体の上に、すぐれた知識と技術を兼ね備え創造性に富む実践的な産業人の育成を図る。 このことを実現するために本年度は以下の重点目標を設定した。 (1) 社会で通用する確かな力を身に付けさせる。 (2) ルールやマナーを自ら守り、社会的規範を大切にさせる。 (3) 自ら健康と安全を管理できる生徒を育てる。	
2 評価する領域・分野	◇ 健康・安全	
3 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	学校保健委員会、教職員安全衛生委員会において、安全管理の面で健康管理医から次のような助言をいただいた。 ・室内で行う実習の授業において、特に夏場は高温になる時があるが、業務用の扇風機を用意するなどの工夫をしてほしい。 ・各種たくさんの機械があるが、作業主任者が日常点検を行うだけでなく、定期的に業者点検を行うこと、周辺の整理整頓を行うこと、その他鍵の管理や引き継ぎなど職員のネットワークが重要となる。	
4 今年度の具体的かつ明確な重点目標	◇体力の向上に努め、健康で安全な生活を営む態度を育てる。 ◇生徒の生活習慣や心身の健康状況を的確に把握し、自主的に健康を管理・改善できる能力を育成する。	
5 重点目標を達成するための校内における組織体制	・全職員による行事への参加体制を組織する。 ・校医、PTA役員と連絡、連携を図りながら学校保健委員会、教職員安全衛生委員会を組織的に運営する。	
6 目標の達成に必要な具体的な取組	達成度の判断・判定基準あるいは指標	
(1) 生活習慣の確立と体力の向上 (2) 健康・安全に関する教育推進と事故の未然防止 (3) 体育施設等の充実と管理点検 (4) 集団行動の徹底 (5) 職員厚生の充実	(1) 新体力テストの結果データ (2) 健康診断結果、事後措置 (3) 点検・修繕日誌、施設使用簿 (4) 集合・整列の時間短縮 (5) 参加者の人数、活性化	
8 取組状況・実践内容等	9 評価視点	10 評価
(1) 生徒一人一人の能力、適正等に応じた指導内容の重点化を図る。 (2) 保健だよりを定期的に全校生徒に配布し、健康に関する情報提供や予防を呼びかけた。また、うがいや手洗いの励行を促すとともに、職員室や教室に消毒液を置き注意を喚起した。 (3) 学校施設等を定期的に点検した。部室や器具庫の鍵の管理を徹底した。 (4) 学校行事や全校集会等において、秩序ある集団行動を実践した。 (5) 定期考査中に職員研修会を実施した。	①適正な運動実践を通して体力の向上に努めることができたかどうか ②健康に対する意識を高めることができたかどうか ③施設を合理的、効果的に利用できたかどうか ④集団行動の必要性が理解できたかどうか ⑤職員間の親睦と活性化が図れたかどうか	A (B) C D A (B) C D (A) B C D A (B) C D (A) B C D
11 成果・	○学校行事や全校集会等において、時間よりも早く集合・整列しスムーズに行事を進行することができた。 ○体育施設、運動部部室、更衣室等を定期的に点検し、事務室との連携により修理・補修することができた。部室の鍵の管理も各部部員に徹底できた。	

課題	○職員研修会を1学期の定期考查中に実施した。本年度は大勢の参加者があり、各種目に分かれ活発に行われた。 ○昨年インフルエンザの関係で中止になった運動会は、本年度は天候にも恵まれ、盛大かつ活発に行われた。大きな怪我もなく全職員の協力により終わることができて大変良かった。強歩大会は雪のため中止となり2年連続で開催できなかった。 ▲新体力テストの結果により、能力の高い生徒と低い生徒の差が著しいことが分かった。また、ほとんどの種目において昨年度より上回ることができたが、握力、上体起こし、長座体前屈は、県・全国平均より下回った学年が多かった。	総 合 評 価 A (B) C D
12 来年度に向けての改善方策案 ・体力を向上させ、新体力テストにおいてレベルアップを図るために、カリキュラムの見直し、授業内容の検討を続けていきたい。 ・部活動や施設の安全点検表を定期的に提出するようにし、事故の未然防止に努めたい。 ・職員の厚生活動を充実させ（期日、内容等）、親睦と活性化を図りたい。		